

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (北関東)	良くなる	コンビニ（経営者）	・気温が高くなってきていよいよ春めいてきた。消費税増税などの影響で多少の変化はあると思っているが、品ぞろえやサービスをさらに改善していけば、今の勢いが続いて良くなっていく。
	やや良くなる	百貨店（店長）	・4月に消費税増税を控え、3月は駆け込み需要が期待できる。4月以降も工夫をしながらきめ細かな対応を行うことで、影響を最小限にとどめていけると考えている。
		コンビニ（経営者）	・春の暖かさによって客の動きが非常に良くなっていくと考えられるが、一方で競合店の問題があるのであまり大きくは期待できない。多少は良くなる。
		衣料品専門店（統括）	・今月は120年来初めての大雪ということで、約1週間ほとんど客が来ず、雪かき三昧という月になってしまった。例年2月は大変暇な時期であるが、天候的にも大きな打撃を受けている。これから暖かくなるにつれ、客の動きも活発になってくるので、景気が良くなることを期待したい。
		スナック（経営者）	・歓送迎会の時期ということもあるので期待している。ゴールデンウィークが始まるころには少し客足が落ちるかと考えている。
		観光型旅館（経営者）	・今月があまりに悪いため、それよりは回復する。
		旅行代理店（所長）	・消費税増税による影響は否めないが、観光シーズンでもあり、影響分を差し引いても景気は上昇する。
		タクシー（経営者）	・2月の動きが良かったのでこの先も良くなる。
		通信会社（営業担当）	・決算期、消費税増税前の駆け込み需要により一時的に消費が高まる可能性がある。
		遊園地（職員）	・外国人観光客の増加により、今後も引き続き多くの来園客を期待している。
		美容室（経営者）	・卒園式や入園式、卒業式や入学式等イベントがあるため、2月よりは売上の増加が見込まれる。
		設計事務所（所長）	・消費税の対策もあり、駆け込み受注で慌ただしくなり、今月よりさらに忙しくなる見込みである。
	変わらない	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・消費税増税が段々気になるようになってきたのか、大型スーパーや家電量販店に人が集まっている。今買いこめば、後で消費が鈍くなるのではないかと懸念している。
		百貨店（販売促進担当）	・3月は消費税増税前の駆け込み需要が期待できるが、4月以降は反動減が懸念される。
		百貨店（販売促進担当）	・3月は消費税増税直前ということで駆け込み需要が見込めるが、一方で4月の反動も十分考えられる。ただし、主力の衣料品は4月以降、春物から夏物に随時入れ替わるため、消費税増税による消費への影響は薄らぐと思われ、トータルではあまり変わらない。
		コンビニ（経営者）	・道路が変わってしまったので、よほど当店にしかないものでもない限り、客はわざわざ遠回りしてきてはくれない。
		コンビニ（店長）	・消費税増税ではたばたすとは思うが、当店の場合は扱っているのが消え物なので、大幅に良くなったり悪くなったりするような状況ではない。あまり変わらない。
		乗用車販売店（経営者）	・消費税増税後、しばらくは販売量が減ると思われる。
		乗用車販売店（営業担当）	・3月中の登録を目指し商談は活発だったが、車が間に合わない車種もあり、慌ただしい現状である。なんとか先につなげていきたい。
		乗用車販売店（管理担当）	・4月からの消費税増税による駆け込み需要により3月末までの売上は増収となるが、4月以降数か月は反動による減収が見込まれる。大企業は春闘の状況によりペースアップが見込まれるが、消費税増税により全体的な消費は後退する。
		一般レストラン（経営者）	・メディアで報道しているような大企業の業績の良さ、景気の良さというのは、なかなか地方では実感としてはない状況である。
		観光型ホテル（経営者）	・ゴールデンウィークを除けば、消費税増税と実質所得の伸び悩みにより、多くの消費者がレジャー分野に対して消費意欲を減退させるのではないかと危惧している。
		都市型ホテル（副支配人）	・夏場に向けての団体客の予約は、ここまではほぼ前年並みである。個人客に関しては、消費税増税後の価格傾向をみてから判断する動きがみられ、出足が鈍いように感じる。
		旅行代理店（従業員）	・為替変動に落ち着きが見られないため、変わらない。
		旅行代理店（副支店長）	・旅行自体については消費税増税でもあまり影響はないが、旅行以外のものやサービスへの駆け込み需要により、旅行に影響が出る。また、大雪の被害が大きく、今後、春先の旅行減が懸念される。

	通信会社（局長）	・消費増税を目前にし、駆け込み需要による消費の増加を実感している。これが一時で終わらず持続的な景気回復につながることを切に望んでいる。
	テーマパーク（職員）	・消費増税による影響が心配である。
	競輪場（職員）	・天候の影響もあり、暖かくなれば入場者数も増えてくるので、それなりの状態で変わらない。
	その他サービス〔イベント企画〕（職員）	・地方では景気の上向きを示すような顕著な動きはみられない。
	設計事務所（所長）	・3か月先は消費増税後なので、更なる新規物件の冷え込みが予想される。
	住宅販売会社（従業員）	・全般的に景気上向きの雰囲気はあるものの、地域間格差があり、地方に波及するまで時間を要するためである。また、消費増税による反動も小さくないためである。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・3月までは小売店でも何かしら売れるが、4月以降は買物客が極端に減るものと思われる。
	商店街（代表者）	・消費増税後は需要が減少する。
	商店街（代表者）	・新学期の納品等の注文もかなり減っており、いろいろな物価が上がってきているので今後は悪くなる。
	商店街（代表者）	・間違いなく消費増税の影響が出てくる。
	一般小売店〔家電〕（経営者）	・増税に伴い消費は控えられ、売上も減少は避けられない。必要な物は必要な時に購入する消費者が多くなっている中で、価格重視の量販店の価格競争が始まると、小売業はさらに売上を維持していくことが厳しくなる。
	一般小売店〔乳業〕（経営者）	・良くなる要素が見当たらない。悪くなる要素は消費増税である。
	一般小売店〔家電〕（経営者）	・4月からの消費増税により、やはり消費が落ち込み、景気が冷え込むのではないかと予想している。
	一般小売店〔青果〕（店長）	・当地域では景気が良くなる兆候はみられない。4月からの消費増税に伴い、客の買物意欲も悪化する。
	百貨店（店長）	・消費増税後は必ず落ち込むが、駆け込み需要は期待されているほど大きくないのではないかなと思う。
	スーパー（経営者）	・競争の激化である。
	スーパー（総務担当）	・3月に消費増税前の駆け込み需要が多少あり、4月以降しばらくは流通関連が駆け込み需要の影響を受けそうである。また、3月の駆け込み需要の取込みについても還元セールなどができないので、前回の消費増税の時よりも売上は上がらない。
	スーパー（統括）	・消費増税前の駆け込み需要は3月中旬ごろからで限定的である。むしろ増税後の不安感から、2～3か月は消費意欲が減退するのではないかとみている。
	スーパー（経営企画担当）	・3月は中旬以降で消費増税前のまとめ買いの特需で多少は売上が増えるが、4月以降は逆に売上が減少する。どの程度になるか予測はつかないが、消費が下がるのは確実である。
	スーパー（商品部担当）	・消費増税前後の影響により、3月末は一時的に良いが、4月を含め食品業界自体が値上げ傾向にあるため、厳しい状況になる可能性が感じられる。
	コンビニ（経営者）	・4月から消費税が増税となり、消費者の購買力が低下し、景気は悪くなる。
	コンビニ（経営者）	・消費増税後になり、まとめ買いの反動、買い渋りが起こると思う。コンビニの日配品においても買い渋りは表れるとみている。
	コンビニ（店長）	・あまり良くない現状ではあるが、消費税が増税されるためにある程度前倒しで買物をしているのではないかなと思われる。そのため、先行きの景気はやや悪くなる。
	衣料品専門店（販売担当）	・全体的には消費増税前の駆け込み需要ということで一時的に良くなる業種もあると思うが、この夏ぐらいいまではやはりこのまま買い控え、我慢してしまう状況が続いていくとみている。特に、当店は婦人洋装で、必需品ではないので、かなり厳しい状況になってくる。
	家電量販店（物流担当）	・4月以降は消費増税前の駆け込み需要の反動減が見込まれる。
	乗用車販売店（経営者）	・消費増税前の駆け込み需要の反動減で受注が減少する見込みである。
乗用車販売店（経営者）	・自動車の受注量は確かに増えている。ただし登録、納車が3月に間に合わないものが半数以上である。メーカー施策では3月半ばまでの注文については、4月にずれ込んで消費増税の3%分を補てんしてくれるところもある。いずれにしろ、4月以降は販売量が激減する恐れがある。	
乗用車販売店（従業員）	・消費増税前の駆け込み需要の反動で販売量が減少するのではないかと危惧している。	

乗用車販売店（販売担当）	・今は消費税増税前の駆け込み需要が多いので、今後2～3か月先ということになると反動が多少来るのではないかと思う。また、ゴールデンウィークの行楽シーズンが来るため、車の販売や修理関係はやはり落ち込む。そのような理由から2～3か月先は現在よりは悪くなっていく。
乗用車販売店（統括）	・消費税増税に加え、今月の雪害の影響もあるのでやや悪くなる。
乗用車販売店（店長）	・消費税増税後は新車購入が激減する。
住関連専門店（経営者）	・消費税増税前の駆け込み需要の揺り返しが起こり、若干の冷え込みは発生するものの、アベノミクスの景気高揚感が維持できれば、2～3か月の影響にとどまると思われる。
住関連専門店（店長）	・3月までは駆け込み需要があると思うが、4月以降は悪くなる。
一般レストラン（経営者）	・大雪の影響によるが、この先は消費税増税による影響が不安材料である。
一般レストラン（経営者）	・消費税増税により、外食の回数を減らすと考えられるからである。
一般レストラン（経営者）	・消費税増税への不安感と、それに伴う駆け込み需要も陰りが出てくるのではないかと思う。
スナック（経営者）	・消費税増税前の駆け込み需要に関係のない業種なので、他にお金を使ってしまってこちらには回って来なくなるのではないかと不安である。また、4月からの落ち込み、原価上昇も心配である。
観光型ホテル（営業担当）	・消費税増税の影響のほか、先日の大雪による野菜など食材の価格高騰も心配である。宿泊に関しては電話予約が良くないが、ネット予約は数日前に増える傾向が顕著にみられ、予約がますます間際化してきている。
都市型ホテル（スタッフ）	・4月1日より消費税が上がるということで買い控えるようになる。外食産業においても、あまり外に出ずに自宅で間に合わせてしまうのではないかと思うので、しばらくの間は現在よりは落ちる。
旅行代理店（営業担当）	・4月からの消費税増税の影響がマイナスに働くと懸念される。
タクシー運転手	・消費税増税で消費を控えるのではないかと。
通信会社（経営者）	・消費税増税が実施され、消費意欲は相当減退し、節約志向が強まる。
ゴルフ場（支配人）	・4月からの消費税増税によるものなのか予約が伸びてこない。各種コンペの集客に努力はしている状況だが、個人消費の大幅な下落が予想されるので、不安を感じている。
ゴルフ場（業務担当）	・今回の大雪で2月はほとんど営業にならず終わってしまった。客のゴルフ熱も雪と共に冷めてしまい、春の引き合いも今は若干鈍っている。ただ、ゴルファーのゴルフへのニーズは大体横ばいのようにあり、会員の補充募集等についての引き合いはぼちぼち出てきている。いずれにしてもゴルフ熱が上昇するにはちょっと時間が必要である。外のスポーツのため、天候に左右されることが大きくあるということを改めて実感させられている。
その他レジャー施設 【アミューズメント】 （職員）	・消費税の増税があるためである。
美容室（経営者）	・客との会話で消費税が話題になることが多くなった。当店の来客数を考えると、料金は上げずそのままではいけない状況だが、利潤は低く、経費を考えると非常に心配である。所得税、消費税の納付が同じ時期にあり、現金の手当てをどうするかつらいものがある。客も消費税による価格の変化がどのように家計に波及するかを考え、お金を使えないと話している。
その他サービス【立体 駐車場】（従業員）	・隣接の家電量販店、駅ビルの来客数に関しては消費税増税前の駆け込み需要で多くなっているようだが、4月以降は反動で少なくなる。また、ホテルや大型の映画館にしても予約が少ない状況なので、先行きはやや悪くなる。
設計事務所（経営者）	・消費税増税によりしばらくは仕事量が減る。
住宅販売会社（経営者）	・消費税増税の影響から消費マインドが低下することが予想される。状況を見て少し待ちの状態が続くことも予想されるので、悪くなりそうである。
悪くなる	
一般小売店【衣料】 （経営者）	・4月は市長選挙及び市議会議員選挙が行われる予定になっている。そのような時期は客はあまり移動しないので大変悪い状況になる。
百貨店（営業担当）	・2～3か月後となると消費税が増税される。どの程度の影響が出るかは想定できないが、マイナス要因であり、どうしても消費は減退する。

		百貨店（店長）	・ベアの情報は1～2%であり、消費税増税分の3%に届かないため、買い控えは夏ごろまで続く。
		スーパー（店長）	・4月に限れば、消費税増税前のまとめ買いの反動と実際の増税とで、間違いなく悪くなる。
		衣料品専門店（経営者）	・地方の景気は全く良くなってきていない。
		家電量販店（店長）	・販売量は確実に下がっていく。消費税増税による特需で先食いしていた分、数か月は大きな前年割れが続く。夏場のエアコンがどれだけ動くかが回復のカギとなる。
		乗用車販売店（販売担当）	・現在は消費税増税前の駆け込み需要で来客数が増えている。その割にそれほど売れてはいないが、これから3か月後になると反動減でかなり落ちる。
		自動車備品販売店（経営者）	・2月は消費税増税前の駆け込みで多少良くなっているが、5月になるとその反動でかなり落ち込むことは否めない。
		高級レストラン（店長）	・県内全域で大小さまざまな被害があり、カーポートや屋根、車などの破損が多く、各家庭の出費が予想される上に、消費税増税も重なり、消費が冷え込むことは間違いない。
		スナック（経営者）	・とにかく消費税増税の影響があり、良くなる要素は本当に1つも見当たらない。いつものことだが良い方法があったら教えて欲しい。
		タクシー運転手	・例年、3、4月は歓送迎会等で販売量が増え景気が良くなるが、消費税増税による料金値上げでますます景気が冷え込んでしまうのではないかと心配している。
		通信会社（経営者）	・何といっても消費税増税による買い控えである。脱デフレと称した金融緩和と株価吊り上げによる物価上昇は一部の大手企業には追い風であるが、そのあおりを受けるのは大多数の庶民、中小零細企業である。支出ばかりが増えいく状況では雇用促進、賃金増などありえないので、景気が好転するとは思えない。
		通信会社（経営者）	・リーマンショックから東日本大震災、そして現在、いくらばらまきを行っても、地方の景気は良くならない。来月末は年度末であるが、このタイミングで廃業を予定している同業者が2社あることを既に聞いている。
企業 動向 関連 (北関東)	良くなる	その他製造業〔環境機器〕（経営者）	・本業が順調に伸びている上にメガソーラーの発電開始となるため、良くなる。
	やや良くなる	化学工業（経営者）	・ユーザーに余裕が出てきているのか当社製品の受注が良くなってきている。オリンピック施設、首都高速道路改造整備などの話を受けて先行投資をしてくれているように感じている。
		建設業（開発担当）	・建設業にはアベノミクス効果が顕著に出てきている。当社も事業縮小してきたが、ここに来て建設的に考えて人員を増やしている。10年以上続いた低迷からの脱却も計りたい。
		経営コンサルタント	・家計の消費マインドの好転は今後も徐々に進み、実際の消費も相応に増えるものと見込まれる。また、企業の設備投資意欲も、投資分野により選択的ではあるが増加しつつあり、現実の投資活動も促進される。
		司法書士	・仲間内で話を聞いてもやはりムードが良くなってきている。なんとなく明るさを感じている。
変わらない		窯業・土石製品製造業（経営者）	・年度末ながら、それに関する受注の話はなく、Web等で季節商材のPR展開をしても問い合わせもない状態である。
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	・原材料価格の値上げなどが出てきており、見通しが立たない。
		金属製品製造業（経営者）	・新規取引先ができそうで、試作品を作っている。しかし、現在の状況が良くないのでまだはっきりは分からない。心配している。
		一般機械器具製造業（経営者）	・依然として朗報は全く入って来ず、採算が悪い状況は変わらない。
		一般機械器具製造業（経営者）	・消費税増税後も大きく減少する計画は出しておらず、大きな変化はないと見込んでいる。
		電気機械器具製造業（経営者）	・取引先の生産計画に大きな動きはみられない。消費税増税による変化については見極めができない。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・生産量はしばらくの間、現状維持で推移していくと見込んでいる。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・このところ2～3か月は調子が良いが、その先は全く分からない状況である。
	輸送業（営業担当）	・消費税増税前は駆け込みにより物量は増えるが、それにしただがって車両の不足等も見込まれ、対応が難しくなりそうである。また、円安による原油高で燃料負担が増え、利益も薄くなっている。	

		金融業（役員）	・業種により差があり、建設業と自動車関連は良いが、それ以外はまだ恩恵を被っていない。消費税増税を4月に控え、雪害の影響も大きく、材料価格の値上がり等もあるため、まだ予断は許さない状況である。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・特段の変化はみられない。消費税増税の影響も思ったほど悪くはない。
やや悪くなる		食料品製造業（経営者）	・いろいろな形で消費税増税の影響が出てくるのではないかと。
		食料品製造業（営業統括）	・大雪による後遺症的な影響は避けられず、それに加え消費税増税も大きな負担になるため、急速な回復は難しい。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・消費税増税前の駆け込み需要で注文が前倒しになっているので、4月以降はその分注文が少なくなるのではないかと懸念している。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・4月からの消費税増税でこの先どうなるか分からない。景気はやや悪くなる。
		電気機械器具製造業（経営者）	・下請に対するコスト減の要求は相変わらず厳しい。今後、より厳しくなってくるとみている。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	・大手自動車メーカーの3か月見通しによると、3月をピークに、4、5月は段々減少傾向に入っており、横ばいか減産かというところである。消費税増税前の駆け込み需要的な部分が終わり、下方に振れ始めてきているということである。その他4月からコストの低減要請が回っているため、少しずつ減収減益になり、良くはならないとみている。
		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・消費税増税後しばらくは仕入に慎重な動きが出てくる。
		建設業（総務担当）	・補正予算による発注はあるかもしれないが、民間の発注量は確実に減ると思われるので、厳しい。
		通信業（経営者）	・消費税増税後は消費の落ち込みがありそうである。
		金融業（経営企画担当）	・14日の大雪による雪害で当地域の経済活動が停滞した。この影響はしばらく尾を引くと感じている。
		不動産業（経営者）	・なかなか人件費を増やせない状況が続いている中、消費税増税等の負担感が重く感じる。周囲でも富の二極化が定着しつつあり、多数派の実質収入減が全体に与える影響は大きいと思わざるを得ない。
		広告代理店（営業担当）	・消費税増税後は、売上減に加え原価の上昇で、経営はもっと厳しくなる。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・消費税が増税される4月以降は、いろいろな業種で宣伝費を減らすという話が聞かれる。店側でも売上が落ちるとい見方をしている証でもあると思っている。
	社会保険労務士	・政府の経済対策などはあるが、4月の消費税増税以降はとりあえず一時的に落ち込むという見通しを立てている事業所が多い。	
悪くなる		食料品製造業（製造担当）	・輸入原料の価格はますます高騰し、利益が出ない状況に陥る。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・なかなか利益が出ない。
		金融業（調査担当）	・消費税増税前の駆け込み需要後の反動減による影響が懸念される。4月以降の需要動向を予測できない企業が多く、不安感が強まると、改善し始めた投資にも影響し、景気を一層下押しする可能性がある。
		不動産業（管理担当）	・消費税増税によるコスト増分について、オーナーや顧客から理解を得られ前年売上を維持できるかどうか不透明であり、一方で業務コストは確実に3%以上増えることが決まっているので収益は減少する。
雇用関連 (北関東)	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（経営者）	・取引先の業務が忙しい様子は2～3か月先までは続くと思込まれる。
		職業安定所（職員）	・新規求人、求職の状況では改善してきた感があり、周辺企業に現況を聞くとまだ先の見込みが読めず厳しい状況との声や消費税増税もあり依然厳しいという企業があるのも事実だが、全体としては上向きの気配があるような感じを受けている。
	職業安定所（職員）	・求人数が増加して、求職者が減っている傾向から景気はやや良くなる。	
変わらない		人材派遣会社（経営者）	・新年度になると高校、短大、大学卒業の求人関係は落ち着くので、製造業、販売、サービスあたりはいくらか落ち着いてくる。住宅関連等と公共事業関連の業界は今後もしばらくは活況を呈すると思われる一方で、人手不足の問題が解消されていないため、かなり求人が増えると見込んでいる。しかしながら、先の景気は依然としてやや不透明だと感じている。

	人材派遣会社（支社長）	・消費税増税に対応する需要と、年度末の人材の移動が重なっている様相を呈していることから、4月以降は急激な採用意欲の低下が予想される。
	求人情報誌製作会社（経営者）	・消費税増税を控えた現在はあまり変わらないが、増税後は多くの面で悪い影響が出てくる。
	職業安定所（職員）	・大雪の影響で、ハウス物の農業関係が被害を受けたという話もあるが、大雪の影響で出た被害が、すぐに管内に影響を及ぼすとは考えにくい。
	職業安定所（職員）	・記録的な大雪のため、農作物に大きな影響が出た。そのため、観光目的の一つである果樹に期待することができず、観光による宿泊利用者が激減するのではというホテル関係者からの声も聞かれる。一方で、景気回復の影響で徐々に良くなってきたと話す求人先もある。全体的に景気が回復し、良くなる状況とは言い難いので、変わらないと判断した。
	民間職業紹介機関（経営者）	・求人数は若干増えてきたが、非正規雇用が増え、正社員は現状維持あるいは若干減少し始めており、4月の新卒入社と消費税増税の影響が色濃く出てきている。
	学校 [専門学校]（副校長）	・製造業などの業種の求人数は増えているが、専門学校生や高校生の新規就職先としての業種はまだ厳しい状況である。県の有効求人倍率がまだ全国平均まで達しておらず、今後、駆け込み求人が増えることを期待している。
やや悪くなる	人材派遣会社（管理担当）	・新年度を迎えて求人数が減ると予測している。既に連絡が来ている取引先もある。
	人材派遣会社（営業担当）	・消費税増税で悪影響を受ける。
	職業安定所（職員）	・消費税増税の影響でやや悪くなる。
悪くなる	-	-